

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議における協議内容の整理

学校（教育）への期待	子どもに育みたいこと（力）
楽しさ・楽しみ（学ぶ・繋がる・集団 等） 心を育てる 人との繋がり 学校の安全・安心感・信頼感 多様な人との触れ合い（異世代・異年齢・異文化） 人間関係形成力 基礎学力 個性の伸張 切磋琢磨 地域との連携（地域との繋がり・関わり） 信頼できる学校・先生 （P D C Aが機能・保護者と一緒に教育を支える） （保護者も成長する場・機会） （豊かな人間性・教科の専門性・情熱・初心） 多すぎる期待【課題】・・・対応の具体化 （学校だけに期待し過ぎない・本来の仕事に専念） （業務改善・チームワーク）	主体性 自己肯定感（自信）向上心 健康 学力・体力運動能力向上 社会性（人・友だちを通して学ぶもの） 郷土愛 日本語力 読書習慣 表現力 コミュニケーション力 聞く力 体験教育重視 読解力 創造力 I C T活用力 課題解決力 判断力 探求力 グローバル化に対応する資質・能力 （外国語活動・英語） 豊かな心・思いやり 道徳心

地域・家庭
家庭教育力の低下
地域の頑張り必要（頑張らざるを得ない）

★ 参考意見（例）

西中校区	学校統合 クラス替え タブレット活用と情報モラル教育
東中校区	通学（登下校）時の不安（人数が少ない） スクールバス運行 地域に子どもがいない（少子化・学童保育 等） 小規模特認校の展望 学校選択制 地域の活力 30人学級 等
南中校区	西脇市に住みたいと思える教育 教員の働き方改革 登下校の安全確保（少子化）
黒中校区	民間企業では「効率化」が適正化の目安 「教育効果」と「財政面」の整理 適正規模の考え方 小学校と中学校の違い クラス替え 適正規模だけの観点では、学校の組合せ議論だけになることを危惧

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（西脇中学校区） 意見概要

テーマ：学校（学校教育）への期待・身に付けさせたいこと、子どもに付けさせたいこと（力）

【就学前保護者・学校関係者グループ】

No	意見
01	心の成長 思いやり 人を想う心
02	性教育 ジェンダー L G B T（ウェブ上ですぐに性に関することを知り得る。発育も早くなっており、できるだけ早い段階で性教育を行ってほしい）
03	夢を持てる子ども
04	周囲に流されない力（個性を伸ばす）
05	自己肯定感の高い子ども
06	自分を守る力のある子ども
07	自分で判断できる子ども
08	コミュニケーション能力のある子ども
09	考える力 自分で調べる力
10	雑談力
11	地元愛 地元で就業できる環境（交通機関の整備や企業誘致を行い、地元で様々な職業に就けるように）
12	クラス替えができるように期待（学校に期待）（9年間人間関係が固定されてしまうことへの懸念）
13	学校が個性を伸ばせる場所・本当の自分を出せる場所であってほしい。
14	少人数制の教育を期待（学校に期待）（多くの時間を個々の児童生徒に費やせる）
15	縦割り班活動の充実（学校に期待）
16	学校統合反対（少人数制のメリットが生かせる。一方で、人が少なければ良いということではないという意見も）
17	スマホを持たせるか持たせないか オンライン化への対応（保護者の悩み）
18	ゲームをいつ買うか、または、買わないか（保護者の悩み）
19	習い事・塾への対応（保護者の悩み）
20	親ができないことを学校でさせてやっていただきたい（学校に期待）（友達間で共有できるような体験を）

【小中学校保護者・学校関係者グループ】

No	意見
01	集団生活の中での規律（身に付いていない。社会で生きていけない。集団生活の規律を教えられるのは、家庭ではなく学校）
02	将来について前向きに考える姿勢
03	国語力（英語も大切だが日本語の力が弱くなっている。算数においても日本語の力が求められる。説明できない、文章で表現できない。国語力がなければ人とのコミュニケーションが図れない。）
04	自分の意見が言えることも大切であるが、人の話を聞ける力を付けて欲しい。
05	タブレット端末を持つことも良いが、インターネット等の危険性を十分理解させてほしい。（家庭での指導には限界がある。保護者も一緒に学習できる環境を進めてほしい。）
06	いろいろな方と繋がれるコミュニケーション能力
07	親も一緒に成長できる機会を与えて欲しい。
08	親以外の大人から認めてもらえる場・肯定してもらえる場を設定してほしい。
09	成人し社会に出た時、自立して生きていくための準備を学校に期待

10	これからの時代は、IT関連や勉強ができないと普通に生活できない（社会に順応できない）。
11	健康な強い体や精神力（+思いやり、真心）を身につけて欲しい
12	問題解決する力
13	人間力・思いやり・真心
14	学力は学校に期待しない。（金銭で解決できる問題、学習塾の存在）
15	人との繋がりは必要かどうか（人との繋がりがなくても生きていける時代に移行しているのではないか。）
16	友だちを通して、社会性を学ぶ。（友だちを通じて人とのつながりを学んでほしい。）
17	子どもへの与え過ぎ（例：友達とのけんかを通じて学ぶことも、けんかを未然に制止している。子どもが困らない状況が「考えない」という環境を作ってしまった。）
18	地域の祭りなど、コミュニティに参加して欲しい（地元愛、郷土愛を培ってほしい。）
19	都会と田舎の両方の良さを教えてやりたい。
20	昔と現在の違いを感じさせる行事を体験させたい。
21	人に伝える力や、言葉の重みを伝えたい。
22	英語を身近に感じさせる取組みを期待
23	恩送り（誰かから受けた恩を直接その人に返すのではなく、別の人に送ること。思いやりに繋がる。）
24	前に向かう意欲、解決していく意欲（今の子どもにも楽しい・やってみたい等の意欲を感じにくい）
25	コミュニケーション力（多くの人との関わりで培われる）
26	地域の人との関わり（地域行事・地域での体験活動、農業体験 等）
27	安心して活動できる環境
28	人への信頼感（友達や先生との心の繋がり）（+異年齢の交流、地域の人とのつながり）
29	高度な学力、思考力、判断力を身に付けさせたい
30	教員には、教科指導の専門性と豊かな人間性を期待（少人数の学校を維持→教員の疲弊を加速→学校にある程度の規模が必要）

【地域代表・学校関係者グループ】

No	意見
01	人格形成・基礎学力・対話力の育成（学校に期待）
02	一定規模の子ども人数が必要（学校に期待）
03	時には、厳しい指導も必要 道徳教育の重視
04	子どもが、心を開いて相談できる体制整備（教育相談）
05	基礎的な運動能力の向上
06	正規教員の確保
07	機能するチーム学校 子どもの学びと成長を支える仕組みの充実
08	本をたくさん読める子どもの育成
09	探求力を育てる
10	社会・世界で通用する基礎学力
11	郷土愛を育む 郷土から発信する力
12	社会性を身につける
13	人を尊重する心
14	生きる力と生き方教育 生きる力を育む
15	会話力（コミュニケーション力） 言うだけ、伝えるだけでなく会話ができる力
16	人と協力する気持ちの醸成
17	生き物（命あるもの）を愛する気持ち
18	自分を磨く力

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（西脇東中学校区） 意見概要

テーマ：学校（学校教育）への期待・身に付けさせたいこと、子どもに付けさせたいこと（力）

【就学前保護者・学校関係者グループ】

No	意見
01	対話力を身に付けさせたい。
02	通学時が不安（登下校時に児童1人になることもある）
03	スクールバスが必要（仮に黒田庄地区と比延地区が統合すれば、すごく遠くなってしまう）
04	学童の在り方（昔は学童がなかった）今は学童があり、下校時に一緒に帰る人数が少なくて不安
05	学校選択制の導入はどうか。（人数の多い学校から少ない学校への移動促進 等）
06	学校規模はクラス替えのできる・できないにも関係する。
07	人数が少ないとチャンスが少ない。選択肢が限られてくる。
08	世代によって考え方が違う（若い世代とシニア世代との違い）シニア世代は地元愛というが…。
09	学習以外の学びの場でも、適正な子どもの人数確保は必要（部活動等の社会活動を行う上で、ある程度の人数は必要）
10	放課後に、家庭・地域で過ごす子どもの数が減ってきている。家に帰っても周りに人がいない。（近くに友達がおらず、放課後に友達と遊ぶのが学童ありきな現状）
11	農業（食べられるものを見分けられるような自然知識を身に付ける）
12	地元愛（地域住民としてはできれば東中・比延小・双葉小に存続してほしい想いも）

【小中学校保護者・学校関係者グループ】

No	意見
01	思考力（身に付けさせたい）
02	自分で考える力（身に付けさせたい）
03	本を読む習慣（身に付けさせたい）（家庭での指導、学校での取組の両方）
04	体力向上（鉄棒、雲梯ができない子どもが多い。）
05	安心・安全な学校
06	自分の意見・考えを他者に伝える力（自分で考えたことを相手に伝える力が弱い）
07	表現力・コミュニケーション力
08	フリートーク（双葉小での実践。児童が司会を務め、全校で1つの話題を話し合う。自分の意見を述べる能力が培え、コミュニケーション能力の向上に繋がる。）
09	社会で役立つ技術の習得（勉強）
10	パソコンの操作や、ソフトを使つての資料作成能力
11	地域の人との交流（トライやる以外での交流）㊦共同作業所の方々との交流があった。老人会・こども園等との交流が望まれる。
12	自分のキャリアステージに応じて求められる資質・能力を高めていく力が必要
13	専門性の高い先生によるオンライン授業の活用
14	I C T活用など、学校間連携による出前授業等の実施（上位学校からの指導）
15	自己有用感の醸成
16	判断力（不確定な時代における）
17	課題解決力（今後の社会は変化が激しい、対応できる力を育てほしい。）

18	体験教育重視（体験から得るものは大きい）（子ども一人ひとりの成長が大切、体験から自分でもできたと感じることが大切）
19	特色ある学校（魅力ある学校）
20	小規模特認校に求めるものは何か。
21	地域の活力
22	学力順位の明確化（自分を正しく理解するために）（
23	ノート検定（自主的家庭学習の習慣形成）（双葉小の実践。ノートに板書を写すのではなく、児童自ら考えまとめる。教師が評価し、他の児童も参考にする。）

【地域代表・学校関係者グループ】

No	意見
01	楽しい学校づくり（期待）
02	個性を伸ばす教育 個々の個性・特性を伸ばす学校教育を！
03	社会性を育む教育（子どもが減少する中で社会性を高めることは難しい）
04	子どものしつけ（学校・家庭・地域の連携）
05	家庭の躰が基本。学校は子どもが初めて社会に触れる場でもあるので、先生の熱い心意気が大切
06	地域との連携を大切に。 地域に根差して活動できる力
07	学校が忙しい 先生が忙しい
08	30人学級
09	小規模特認校をどうするのか。
10	英語・プログラミング教育など、全てできなくてもよいのでは？
11	生きる力の育成 生き抜く力 たくましさ
12	あきらめない力
13	自分の考え・意見の確立
14	あいさつ
15	自己実現する力
16	グローバルな考え方を育む
17	友愛 人に対する思いやり 人を差別しない心 等

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（西脇南中学校区） 意見概要

テーマ：学校（学校教育）への期待・身に付けさせたいこと、子どもに付けさせたいこと（力）

【就学前保護者・学校関係者グループ】

No	意見
01	体力（複数）
02	部活動やクラブ活動 興味のある分野を伸ばす教育
03	やりたいことを見つける力 学び続ける力 学ぶ楽しさを身につけて欲しい
04	学び方を身につけて欲しい
05	人と繋がる楽しさを学んでほしい 友だちをたくさんつくって欲しい
06	人の話を聞く力
07	人との協調性 人権感覚を磨いて欲しい
08	人への思いやりの心
09	他人を認める力を身につけて欲しい 他人との違いを認める理解力
10	自己肯定感・自己有用感を高めて欲しい
11	自信を持って欲しい
12	郷土愛 ふるさとを愛する心 地域との繋がり （多数）
13	環境に適応する力
14	社会性 広い社会を知る 社会のルールと個性の違いを身につける
15	多様な価値観をもった人との触れ合い 共生
16	異世代・異年齢・異文化の方々との交流
17	読解力 表現する力 自分の言葉で表現する力
18	自分で考える力 課題解決力 自立・自律 自治力
19	遊び心
20	コツコツ頑張ることの大切さ（地道な努力が評価される）
21	安心感と信頼感（学校に期待）
22	P D C Aを取り入れた教育（学校に期待）
23	分からない分野の強化
24	保護者と一緒に教育を支える（学校に期待）
25	情報を正しく使う力（情報活用力）

【小中学校保護者・学校関係者グループ】

No	意見
01	学力だけでなく心を育てる教育
02	コミュニケーション能力（子どもに付けさせたい力）
03	創造力（子どもに付けさせたい力）
04	自立して生きていく力（子どもに付けさせたい力）
05	基本的な生活習慣（家庭教育で付けさせたい力）
06	自己コントロール力（子どもに付けさせたい力）
07	想像力（相手や仲間の立場に立てるように）
08	自分の意見を言える子どもに。（自分の言葉で相手に思いを伝える力・相手の言葉を聞く力）
09	学校に通うことが楽しみな学校

10	前向きに考える力を育成してくれる教育
11	部活動による人間形成（活動時間を長く） 部活動の送迎などの役割の見直し
12	英語環境の充実・英語力の強化 レントン姉妹都市との交流
13	ずっと西脇市に住みたいと思える教育
14	社会に出ても活躍できる人材育成
15	全国平均の学力 学力向上
16	大人になってから必要な知識を教えて欲しい
17	遊び心のある授業実施
18	重春小と芳田小との交流の機会を設定（重春・芳田に限らず学校間の交流を活発にする）
19	保護者も先生方を見守る姿勢が必要
20	助け合える環境（先生同士・保護者同士 等）
21	学校に対して期待することが多すぎる。親も学校だけに期待し過ぎない。（最低限の生活習慣等の指導は家庭で行うべき）
22	学校の先生方には、学習指導など本来の仕事に専念して欲しい
23	先生方の業務の見直し（先生の負担を地域等の外部人材で手伝い軽減できるような仕組みづくり）
24	教員の働き方改革 部活指導が困難ならば、外部指導員を採用する。
25	教員のチームワークの向上（学校に期待すること）
26	教員になろうと思われた気持ちを忘れないで欲しい（現場で働く先生の生の声を聞きたいという意見も）
27	第1に、先生と子どもの信頼関係づくり
28	小学校の教科担任・専門の教員の充実
29	今後、児童生徒数が減少することから、登下校の安全確保が重要（芳田小のような少人数校は特に）
30	登校時の荷物の量を少なくして欲しい

【地域代表グループ】

No	意見
01	一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添った教育、一人ひとりの子どもの生き方・考え方を認める教育
02	公平で公正な教育
03	学力がどの領域でも低い。学力向上を期待（全国平均の学力を確保してほしい）
04	英語が本当に身につく教育を進めて欲しい
05	I C Tを活用した教育の充実
06	道徳心を育む学校 マナー重視の学校
07	いじめのない学校（児童生徒1人1人を大切に）
08	集中力を育む教育
09	良い先生の確保（児童生徒に寄り添う教師の質が大切）
10	先生の仕事の軽減を図る
11	問題解決に努力する学校
12	地域愛・西脇愛・ふるさとへの誇りを持てる子どもの育成
13	ふるさとを大切に思う子どもの育成
14	思いやりのある子ども（身に付けさせたいこと）
15	規則正しい生活ができる子ども（身に付けさせたいこと）
16	読解力の向上
17	自分の考えで行動する力をもつ子ども（予想できないことを打ち砕く創造性、変わる社会に対応する力）
18	他人の意見をよく聞き、自分の意見も言える子ども
19	自分の言動に責任が持てる子ども

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（黒田庄中学校区） 意見概要

テーマ： 学校（学校教育）への期待・身に付けさせたいこと、子どもに付けさせたいこと（力）

【就学前保護者グループ】

No	意見	
01	子どもの様子（知りたい）	
02	先生との距離感	
03	異年齢交流	（学校は、勉強とともに人間関係を学ぶ場）
04	友だちとの繋がり	
05	楽しさ（楽しい学校）	
06	読解力（読み解く力）	
07	技術力（パソコン、タブレット等）	
08	地域愛	（地域愛に繋がる地域の歴史を学ぶ機会、希薄になりつつある地域とのふれあいが必要）
09	地域の方々との繋がり・地域との関わり	
10	地場産業に関する理解	
11	安全に関する力（交通安全等、自己を守る力）	
12	自分の思いが言える（自分の意見を主張でき、相手の気持ちを読み解く力）	
13	自分のことは自分でできる	
14	あいさつができる（家庭でも、学校でも、地域でも）	

【小中学校保護者グループ】

No	意見	
01	自分で考える力（主体性や気づく力を育てられる環境を）	
02	縦割り班活動の強化（上下の学年の関わり・協力）（高学年の子どもに責任が芽生え、低学年の子どもは目上を尊敬することになる）	
03	体力向上（コロナ下で運動不足）	
04	教員の質の向上（一人一人をしっかりと見つめ、子どもの能力を伸ばす指導）子どもによる教員評価	
05	コミュニケーション能力の育成	
06	主体的に意見が言い合える環境づくり（主体性の育成）	
07	英語教育の力	
08	好奇心が育つような環境（気軽に質問できるような）	
09	オンライン授業（学校教員以外の専門家の指導も）	
10	読解力が身につくような指導 読書を取り入れる等（子どもが読書した内容を発表する等）	
11	社会性・社会的な能力向上	
12	人との繋がりを大切にする（校内・校外・地域内）人との触れ合いを大切にした指導	
13	相手の立場に立って考える力	
14	向上心のある子ども	
15	言葉使い（目上の人に対する） I T関連の授業に力を入れる	
16	パソコンが使えるように	
17	英語が話せるように	
18	元気さ 明るさ 豊かな人間性の育成が学力向上にも繋がる	
19	切磋琢磨・競争し高め合う面が不足している（学年単学級の改善）	

【地域代表・学校関係者グループ】

No	意見
01	何を以って「適正化」というのか。民間企業なら「効率化」が適正化の目安である。資金注入により魅力的な教育ができる。「財政」と「教育効果」の相反関係をどう整理すればよいか。
02	今の時代、先生方の苦労が大きくなっていることは想像できる。
03	家庭の教育力が落ちている。地域も頑張らざるを得ない。
04	適正な規模は、小学校と中学校で相違するのではないか。小学校は1学級あたりの人数は少ない方がいいのが現状、一方、中学校は少人数では活動できない、効果が上がらないことが多い。
05	我が子であれば、ある程度的人数がいる学校に通わせたい。多くの子どもに採まれることが大切。少人数ならではの親密な関係もいいが、一旦関係が崩れると後がしんどい。
06	適正規模だけの観点では、どの学校とどの学校を一緒にするのかという議論で終わる。
07	1学年の学級数、1クラスの子どもの人数等、どのくらいの規模が望ましいか。
08	1学年2学級以上が望ましい。クラス替えはあるべきだ。
09	子どもの数が減っても、学級数は増やせる。市費負担教職員の導入も考えてはどうか。
10	教職員数を増やさずとも、地域の方に多く介入してもらえばよい。きめ細かな指導も期待できる。
11	教職員の質を上げて欲しい。
12	先生方の質がいか程なのかよくわからない。
13	少なくとも、地域に溶け込めるような教職員でいてほしい。
14	教員は、大学を卒業したらすぐに学校に配置される。地域の行事にも参加しない。
15	地域の方々との関係は大切である。
16	地域と良好な関係を保つと、学校もいろいろと地域に依頼しやすいのではないか。
17	黒田庄地区と学校との関係は魅力的である。地域から信頼される学校でありたい。小中の関係も黒田庄地区は優れたものがある。
18	現役の保護者世代は、子どもの学力等が関心事だろう。我々は、子どもの社会性やあいさつ・礼儀等に関心がいく。
19	あいさつひとつでも学校が変わる。